

上映作品 (NHK BS)

# 憎しみとゆるし マニラ市街戦その後

2014年 第31回ATP賞テレビグランプリ ドキュメンタリー部門・グランプリ受賞作品

アジア太平洋戦争末期、フィリピンを奪還するためにアメリカと日本の中で凄惨な戦闘が行われた。このマニラ市街戦によってフィリピンの市民10万人が犠牲となった。その「憎しみ」から日本人・日本兵をフィリピンの人々はどのように「ゆるし」たのか。ゆるしの連鎖を断ち切る人々に焦点を当てたドキュメンタリー作品。アジア太平洋戦争でおきたこと、日本と東南アジアの戦後の関係修復のプロセスを知るだけでなく、人が人を憎み、人が人を許し合う、人間性そのものに大きな問いかけをする作品です。

**日時：12月22日(木) 16:20～18:30**

**場所：明治大学 和泉キャンパス  
和泉図書館ホール(1階)**

**講師：金本麻理子氏**

(株式会社椿プロ 代表取締役 ディレクター)

【コーディネーター：鳥居 高 商学部教授】



この度は、大変栄誉あるグランプリを頂き有難うございます。8年前「マニラ市街戦」にて、日本とアメリカの戦争に巻き込まれ10万もの市民が犠牲となったフィリピンの人々取材しました。番組のラストで父と兄を日本軍に殺された女性が「もうこれで話すのは終わりforgive forget」と語りました。私の中でその言葉はずっと強く重く心に残っていました。今回もう一度フィリピンの方々の声を聞き、彼らの戦後を知ることで、その言葉の重さを、そこに至るまでの苦悩を、その意味を深く感じることができ、本当にディレクター冥利につける機会でした。このテーマを番組にしたいと企画され情熱を注がれた角野CP, “憎しみの連鎖を断ち切らねば前に進めない”という今日的なメッセージを大切にしようと熱い試写で導いてくださった下田CP, 取材しまくり“カオス”に入ってしまう私につきあいきれないと思いつつも、共に苦労してくれたスタッフ栗原, 橘, 川口, そして多大な協力をくださったフィリピンの人々。(伝えきれないこともあります)

今回、スタッフ一同、取材させてくださった方々、皆がこの番組を創る意義を共有できたと感じました。だから尚更、認めて頂けたことが嬉しくディレクターを仕事に選んでよかった！ディレクターを続けてきてよかった！大切なテーマと巡り合えたことに心から感謝しています。これを励みにまだまだまだまだこの仕事を続けていけそうです！

代表取締役 ディレクター 金本麻理子(椿プロ)

(データの出所) [http://www.atp.or.jp/awards/pdf/atp2014\\_sasshi.pdf](http://www.atp.or.jp/awards/pdf/atp2014_sasshi.pdf)

予約不要：学部生の受講可

※学外の方も受講可能です。事前にお電話ください。

【教養デザイン研究科 TEL：03-5300-1529】